

痛み止めを正しく使いましょう

科 ID: 様

これからあなたが使用する痛み止めは、がんによる痛みを軽減する医療用麻薬と呼ばれる薬です。“麻薬”と聞くと、麻薬中毒者のように気が狂ってしまう、とか、寿命が縮む、とか、いつかは効かなくなってしまう…というイメージをもたれることが多いようですが、これは間違いです。医師の指示どおりに使用すれば、こういったことは起こりません。

また、医療用麻薬はほかの治療とあわせて早期から使用し、痛みがなくなれば減量・中止をしていくこともできます。(減量・中止は医師の指示に従いましょう)

《定期的に使う痛み止め》

☐ MS コンチン錠 () mg 1日2回 1回__錠

☐ オキシコドン徐放錠 NX () mg 1日2回 1回__錠

☐ ナルサス錠 () mg 1日1回 1回__錠

☐ フェンタニルクエン酸塩1日用テープ () mg

1日1回 1回__枚 【毎日同じ時間に貼り替える】

痛くなくても定期的に使用するのが大切です！



《痛くなったときに使う痛み止め》

☐ オプソ内服液 5mg 1回__包

☐ オキノーム散 () mg 1回__包

☐ ナルラピド錠 () mg 1回__錠

原則、1時間以上あければ1日何度でも使用可能です。

★アブストラル舌下錠は特殊な使用方法をします。
指示に従い使用しましょう。



【医療用麻薬の副作用と予防】

☆ 便秘

定期的に下剤や緩下剤を使用します。
水分摂取・腹部のマッサージも効果的です。



☆ 吐き気

医療用麻薬開始後 1～2 週間で吐き気は治まってきます。
あらかじめ吐き気止めを使用することもあります。



☆ 眠気

医療用麻薬を開始または増量後 2～3 日にみられることがあります。
車の運転はおすすめできません。

☆ 口の渇き

水で口を潤しましょう。リップクリームを塗ったり、
酸味のある水や梅、ノンシュガーのガムなどの摂取も効果的です。

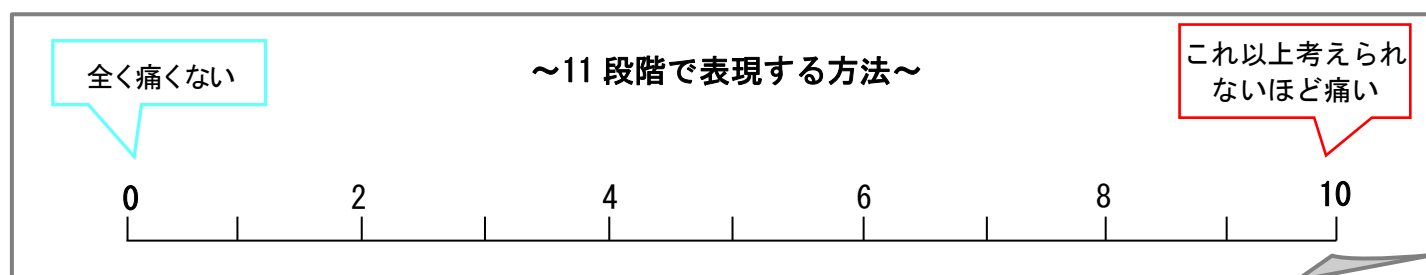


☆ その他

気になる事がありましたらスタッフにお尋ねください。

【痛みの強さの表現方法について】

痛みは、「本人が痛いと感じる主観的な感覚」なので、本人以外の人々が正しく評価することは簡単ではありません。そこで、周囲の人が共通した痛みの認識を持つための手段として、下記のような痛みの強さを数字で表現する方法があります。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら、医師・薬剤師・看護師にご相談ください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表) 0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

